# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月５日

上 場 会 社 名　　三重交通グループホールディングス株式会社　　上場取引所　　東・名
コ ー ド 番 号　　3232　　URL　https://holdings.sanco.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　取締役社長　　（氏名）　増田　充康
問合せ先責任者　（役職名）　経理グループ 経理担当部長　（氏名）　岩垣　智憲　　(TEL) 059-213-0351
半期報告書提出予定日　　2026年11月９日　　配当支払開始予定日　　2026年11月24日
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：有　（　アナリスト・機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 53,482 | 7.1 | 5,580 | 6.4 | 5,497 | 4.4 | 4,293 | 8.1 |
| 2026年３月期中間期 | 49,925 | △2.3 | 5,245 | 1.9 | 5,265 | 0.5 | 3,969 | △2.7 |

（注）包括利益 2027年３月期中間期　8,146百万円（　72.5%）　2026年３月期中間期　4,723百万円（　54.6%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 42.68 | ― |
| 2026年３月期中間期 | 39.57 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 204,615 | 77,742 | 37.8 |
| 2026年３月期 | 191,511 | 70,535 | 36.6 |

（参考）自己資本 2027年３月期中間期　77,321百万円　　2026年３月期　70,141百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | ― | 8.00 | ― | 10.00 | 18.00 |
| 2027年３月期 | ― | 11.00 | | | |
| 2027年３月期(予想) | | | ― | 9.00 | 20.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
（注）2027年３月期の中間配当金には、当社が2026年10月に設立20周年を迎えたことから、記念配当２円を含んでおります。

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 113,000 | 2.5 | 9,700 | △0.6 | 9,200 | △4.9 | 6,300 | 0.8 | 62.63 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社、除外　　ー社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は添付資料12ページ「２.中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 107,301,583株 | 2026年３月期 | 107,301,583株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 6,536,889株 | 2026年３月期 | 6,779,639株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 100,585,605株 | 2026年３月期中間期 | 100,325,867株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料６ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法について）

当社は、2026年11月25日（水）にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会（ライブ配信）を開催する予定です。説明に使用する資料につきましては、事前に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 6
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 6
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 7
（１）中間連結貸借対照表 …… 7
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 9
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……12
（継続企業の前提に関する注記） ……12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……12
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） ……12
（セグメント情報） ……12

# １．経営成績等の概況

## （１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（以下「当中間期」という。）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益が高水準で推移したことにより、緩やかな回復基調となりました。その一方で、金利の上昇や中東情勢の混乱に伴う原油価格の高騰、円安による輸入物価の上昇等を背景に、先行きは不透明な状況が続きました。

このような中、当社グループでは、伊勢神宮のお木曳行事及びアジア競技大会の関連需要を取り込むため、バス、ビジネスホテル、旅館や旅行事業等で販売促進に努めました。また、本年４月には「四日市三交ビルANNEX」の建設工事に着手するなど、将来の安定収益基盤の拡充に努めました。

当中間期は、運輸、レジャー・サービスセグメントにおいて、お木曳行事及びアジア競技大会等のイベント関連収益があったこと、不動産セグメントでは戸建・新築マンションの引渡し数増加等により、また、流通セグメントではトラック販売が好調に推移したことなどにより、それぞれ大きく収益が増加しました。

この結果、当社グループの営業収益は、534億82百万円（前年同期比35億56百万円、7.1％増）となり、営業利益は55億80百万円（同３億34百万円、6.4％増）、経常利益は54億97百万円（同２億32百万円、4.4％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は42億93百万円（同３億23百万円、8.1％増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（運輸セグメント）

一般乗合旅客自動車運送事業（乗合バス）では、伊勢市でのお木曳行事に伴う旅客需要が高まったことにより営業収益は増加しました。一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス）では、前年の万博及びＦ１日本グランプリ等の反動減があったものの、アジア競技大会等のイベント輸送を取り込んだことにより営業収益は増加しました。一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）では、三重地区の運賃改定（2026年３月）が寄与したことにより営業収益は増加しました。

この結果、運輸セグメントの営業収益は136億60百万円（前年同期比７億30百万円、5.6％増）となりましたが、処遇改善による人件費等の増加により、営業利益は８億46百万円（同41百万円、4.7％減）となりました。

業種別営業成績

| 区分 | 営業収益（百万円） | 前年同期比（％） |
|---|---|---|
| 一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス) | 6,064 | 4.5 |
| 一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス) | 4,051 | 5.0 |
| 旅客運送受託事業 | 2,706 | 4.9 |
| 一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー) | 466 | 14.7 |
| 貨物自動車運送事業 | 121 | 3.9 |
| 自動車整備事業 | 287 | 5.5 |
| その他 | 1,181 | 12.8 |
| 小計 | 14,881 | 5.6 |
| 内部取引の消去 | △1,220 | － |
| 合計 | 13,660 | 5.6 |

（注）　一般旅客自動車運送事業における営業成績は下記のとおりであります。

| 区分 | 単位 | 一般乗合旅客自動車運送事業 | 前年同期比（％） | 一般貸切旅客自動車運送事業 | 前年同期比（％） | 一般乗用旅客自動車運送事業 | 前年同期比（％） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 営業日数 | 日 | 183 | 0.0 | 183 | 0.0 | 183 | 0.0 |
| 期末在籍車両数 | 両 | 810 | 2.0 | 247 | △0.8 | 138 | 1.5 |
| 営業キロ | km | 6,567 | △3.1 | － | － | － | － |
| 実働走行キロ | 千km | 13,328 | △2.2 | 4,652 | △8.8 | 806 | 3.4 |
| 旅客人員 | 千人 | 20,888 | 3.0 | 1,163 | 2.5 | 215 | 7.2 |
| 旅客運送収入 | 百万円 | 5,892 | 4.4 | 3,071 | 7.0 | 459 | 14.8 |
| 運送雑収 | 百万円 | 172 | 8.8 | 979 | △0.9 | 7 | 12.2 |

（不動産セグメント）

分譲事業では、戸建・マンション等の引渡し件数の増加により営業収益は増加しました。賃貸事業では、前年８月に開業した「四日市三交ビル」等の収益が寄与したことにより営業収益は増加しました。建築事業では、注文住宅の完工棟数増により営業収益は増加しました。環境エネルギー事業では、日照時間の減少で発電量が低下したことにより営業収益は減少しました。仲介事業では、取扱高や取扱件数の拡大により営業収益は増加しました。不動産管理事業では、マンション管理やホテル客室清掃の新規受託により営業収益は増加しました。

この結果、不動産セグメントの営業収益は170億48百万円（前年同期比15億98百万円、10.3%増）となり、営業利益は36億65百万円（同３億63百万円、11.0%増）となりました。

業種別営業成績

| 区分 | 営業収益（百万円） | 前年同期比（%） |
|---|---|---|
| 分譲事業 | 4,699 | 29.2 |
| 賃貸事業 | 5,892 | 4.7 |
| 建築事業 | 1,732 | 32.6 |
| 環境エネルギー事業 | 2,780 | △11.8 |
| 仲介事業 | 573 | 18.8 |
| 不動産管理事業 | 1,695 | 7.7 |
| その他 | 19 | 0.9 |
| 小計 | 17,392 | 10.1 |
| 内部取引の消去 | △344 | － |
| 合計 | 17,048 | 10.3 |

（注）１　分譲事業及び建築事業の営業収益は、その計上時期が第４四半期連結会計期間に偏る傾向があり、中間連結会計期間の計上額が相対的に少なくなるという季節的変動があります。

２　分譲事業における営業成績は下記のとおりであります。

| 区分 | 土地（ロット） | 前年同期比（%） | 建物（戸） | 前年同期比（%） | 営業収益（百万円） | 前年同期比（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 戸建分譲 | 46 | 17.9 | 38 | 65.2 | 1,260 | 32.8 |
| マンション分譲（持分換算後） | － | － | 84<br>(61.0) | 21.7<br>(8.2) | 2,699 | 1.5 |
| 土地売却他 | － | － | － | － | 739 | － |

３　建築事業における受注状況は下記のとおりであります。

| 区分 | 受注高（百万円） | 前年同期比（%） | 受注残高（百万円） | 前年同期比（%） |
|---|---|---|---|---|
| 建築事業 | 2,022 | △23.1 | 2,816 | △20.0 |

（流通セグメント）

石油製品販売事業では、販売単価が上昇したことにより営業収益は増加しました。生活用品販売事業では、購買単価が上昇したことにより営業収益は増加しました。自動車販売事業では、トラックの新車販売増に加え、車両整備も堅調に推移したことにより営業収益は増加しました。

この結果、流通セグメントの営業収益は182億28百万円（前年同期比12億11百万円、7.1％増）となり、営業利益は４億12百万円（同28百万円、7.4％増）となりました。

業種別営業成績

| 区分 | 営業収益（百万円） | 前年同期比（％） |
|---|---|---|
| 石油製品販売事業 | 5,390 | 5.8 |
| 生活用品販売事業 | 4,287 | 0.8 |
| 自動車販売事業 | 8,633 | 11.5 |
| 小計 | 18,310 | 7.1 |
| 内部取引の消去 | △82 | ― |
| 合計 | 18,228 | 7.1 |

（レジャー・サービスセグメント）

ビジネスホテル事業では、アジア競技大会・お木曳行事に伴う宿泊需要を取り込んだことにより客室単価が上昇し、営業収益は増加しました。旅館事業では、お木曳行事や夏休みの宿泊需要を取り込み好調に推移したことにより営業収益は増加しました。ドライブイン事業では、団体レストランや売店の利用が堅調に推移したことにより営業収益は増加しました。索道事業（ロープウエイ）では、天候不順によって乗車人員が減少したことにより営業収益は減少しました。旅行事業では、団体旅行が好調に推移したことにより営業収益は増加しました。

この結果、レジャー・サービスセグメントの営業収益は84億１百万円（前年同期比４億50百万円、5.7％増）となりましたが、売上原価及び営業費用が増加したことにより、営業利益は６億44百万円（同６百万円、1.0％減）となりました。

業種別営業成績

| 区分 | 営業収益（百万円） | 前年同期比（％） |
|---|---|---|
| ビジネスホテル事業 | 3,719 | 2.3 |
| 旅館事業 | 1,526 | 24.5 |
| ドライブイン事業 | 511 | 4.6 |
| 索道事業(ロープウエイ) | 406 | △3.2 |
| ゴルフ場事業 | 233 | 5.9 |
| 旅行事業 | 1,405 | 3.2 |
| 自動車教習所事業 | 465 | 0.9 |
| その他 | 137 | △1.2 |
| 小計 | 8,405 | 5.7 |
| 内部取引の消去 | △3 | ― |
| 合計 | 8,401 | 5.7 |

## （２）当中間期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末（2026年９月30日現在）における財政状態は、資産は販売用不動産の増加等により2,046億15百万円（前連結会計年度末比131億４百万円増）となりました。負債は借入金の増加等により1,268億73百万円（同58億97百万円増）となりました。純資産は利益剰余金の増加等により777億42百万円（同72億６百万円増）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加等により、８億37百万円の支出（前年同期比７億52百万円支出減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得等により、27億２百万円の支出（同30億17百万円支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加等により、57億４百万円の収入（同11億35百万円収入減）となり、この結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、47億37百万円（前連結会計年度末比21億64百万円増）となりました。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2026年５月13日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

（2027年３月期連結業績予想）

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円　銭 |
| 前回発表予想(A) | 112,000 | 9,200 | 8,700 | 6,000 | 59.75 |
| 今回修正予想(B) | 113,000 | 9,700 | 9,200 | 6,300 | 62.63 |
| 増減額(B-A) | 1,000 | 500 | 500 | 300 | |
| 増減率(%) | 0.9 | 5.4 | 5.7 | 5.0 | |
| （ご参考）前期実績（2026年３月期） | 110,260 | 9,756 | 9,674 | 6,250 | 62.24 |

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、中間期までの業績に加え、営業収益は流通セグメントの自動車販売事業において新車販売が堅調に推移していることなどから前回予想（2026年５月13日公表）を上回る見込みとなりました。一方、営業費用では人件費、軽油費及び施設修繕費等の増加が、また、営業外費用では金利上昇による支払利息の増加が見込まれます。

以上により、前回予想と比較し、営業収益は10億円上回る1,130億円、営業利益は５億円上回る97億円、経常利益は５億円上回る92億円、親会社株主に帰属する当期純利益は３億円上回る63億円を見込んでおります。

なお、業績見通し等の将来予測に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,733,692 | 6,897,843 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,833,572 | 9,167,768 |
| 商品及び製品 | 4,572,182 | 4,131,517 |
| 販売用不動産 | 28,894,106 | 34,885,059 |
| 仕掛品 | 259,711 | 465,274 |
| 原材料及び貯蔵品 | 304,812 | 327,873 |
| その他 | 2,240,047 | 2,532,867 |
| 貸倒引当金 | △23,947 | △11,884 |
| 流動資産合計 | 50,814,177 | 58,396,319 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 35,562,190 | 34,776,496 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 17,964,047 | 17,515,434 |
| 土地 | 58,311,842 | 58,390,158 |
| その他（純額） | 1,212,496 | 1,637,479 |
| 有形固定資産合計 | 113,050,576 | 112,319,569 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 407,599 | 404,191 |
| 無形固定資産合計 | 407,599 | 404,191 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 27,330,554 | 33,581,864 |
| 貸倒引当金 | △91,467 | △86,410 |
| 投資その他の資産合計 | 27,239,087 | 33,495,453 |
| 固定資産合計 | 140,697,263 | 146,219,214 |
| 資産合計 | 191,511,441 | 204,615,533 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,554,695 | 4,516,532 |
| 短期借入金 | 14,980,000 | 13,970,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 26,089,634 | 27,535,686 |
| 未払法人税等 | 2,015,855 | 1,503,980 |
| 事業整理損失引当金 | 567,000 | 552,000 |
| 引当金 | 1,921,749 | 1,612,055 |
| 資産除去債務 | 180,000 | 180,000 |
| その他 | 11,150,151 | 9,292,014 |
| 流動負債合計 | 61,459,085 | 59,162,269 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 39,923,257 | 46,203,252 |
| 引当金 | 374,211 | 390,335 |
| 退職給付に係る負債 | 1,818,482 | 1,684,633 |
| 資産除去債務 | 2,092,795 | 2,102,234 |
| その他 | 15,307,824 | 17,330,773 |
| 固定負債合計 | 59,516,571 | 67,711,228 |
| 負債合計 | 120,975,656 | 126,873,498 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| 資本剰余金 | 10,776,697 | 10,820,317 |
| 利益剰余金 | 44,244,026 | 47,531,811 |
| 自己株式 | △619,637 | △597,472 |
| 株主資本合計 | 57,401,086 | 60,754,656 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,243,446 | 12,989,444 |
| 土地再評価差額金 | 3,213,332 | 3,213,332 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 284,128 | 364,188 |
| その他の包括利益累計額合計 | 12,740,906 | 16,566,965 |
| 非支配株主持分 | 393,791 | 420,412 |
| 純資産合計 | 70,535,784 | 77,742,034 |
| 負債純資産合計 | 191,511,441 | 204,615,533 |

## （２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

### 中間連結損益計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業収益 | 49,925,959 | 53,482,713 |
| 営業費用 | | |
| 運輸業等営業費及び売上原価 | 34,571,485 | 37,447,718 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,108,925 | 10,454,647 |
| 営業費用合計 | 44,680,410 | 47,902,366 |
| 営業利益 | 5,245,548 | 5,580,347 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 199,650 | 249,341 |
| その他 | 125,908 | 186,108 |
| 営業外収益合計 | 325,558 | 435,449 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 303,829 | 510,201 |
| その他 | 2,009 | 7,693 |
| 営業外費用合計 | 305,838 | 517,894 |
| 経常利益 | 5,265,268 | 5,497,902 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | － | 2,813 |
| 投資有価証券売却益 | 17,121 | － |
| その他 | 2,019 | 4 |
| 特別利益合計 | 19,140 | 2,817 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 66,353 | 18,501 |
| 固定資産圧縮損 | － | 2,719 |
| その他 | 450 | 18 |
| 特別損失合計 | 66,804 | 21,239 |
| 税金等調整前中間純利益 | 5,217,604 | 5,479,480 |
| 法人税等 | 1,226,586 | 1,165,997 |
| 中間純利益 | 3,991,018 | 4,313,482 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 21,394 | 20,478 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 3,969,623 | 4,293,004 |

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 3,991,018 | 4,313,482 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 797,911 | 3,752,571 |
| 退職給付に係る調整額 | △65,496 | 80,060 |
| その他の包括利益合計 | 732,415 | 3,832,632 |
| 中間包括利益 | 4,723,433 | 8,146,115 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 4,695,824 | 8,119,063 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 27,608 | 27,051 |

## （３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 5,217,604 | 5,479,480 |
| 減価償却費 | 2,662,848 | 2,875,050 |
| 受取利息及び受取配当金 | △201,941 | △260,084 |
| 支払利息 | 303,829 | 510,201 |
| 固定資産処分損益（△は益） | 66,353 | 18,501 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,486,434 | 504,741 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △6,781,818 | △5,775,842 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △1,131,620 | △51,737 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | △26,241 | △304,789 |
| その他の流動資産の増減額（△は増加） | △296,472 | △51,816 |
| その他の流動負債の増減額（△は減少） | △1,357,622 | △1,300,738 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △17,121 | － |
| その他 | △227,479 | △842,564 |
| 小計 | △303,248 | 800,402 |
| 利息及び配当金の受取額 | 201,578 | 259,607 |
| 利息の支払額 | △272,449 | △476,210 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | △1,215,492 | △1,420,840 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,589,610 | △837,041 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △650,000 | △600,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 600,000 | 600,000 |
| 固定資産の取得による支出 | △5,850,585 | △2,486,289 |
| 固定資産の売却による収入 | 2,201 | 482 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6,966 | △7,722 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 54,000 | － |
| 投融資による支出 | △171,964 | △197,184 |
| 投融資の回収による収入 | 25,608 | 30,843 |
| 預り保証金の返還による支出 | △241,846 | △177,100 |
| 預り保証金の受入による収入 | 452,140 | 76,687 |
| その他 | 66,481 | 57,331 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,720,930 | △2,702,951 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △110,000 | △1,010,000 |
| 長期借入れによる収入 | 19,560,000 | 21,242,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △11,797,947 | △13,515,953 |
| 自己株式の取得による支出 | △49 | △26 |
| 配当金の支払額 | △802,048 | △1,005,219 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △430 | △430 |
| その他 | △10,133 | △6,226 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 6,839,391 | 5,704,143 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △471,150 | 2,164,150 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,306,223 | 2,573,692 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,835,073 | 4,737,843 |

## （４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額（注）１ | 中間連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 運輸 | 不動産 | 流通 | レジャー・サービス | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 12,034,791 | 14,224,535 | 15,851,955 | 7,814,676 | 49,925,959 | ― | 49,925,959 |
| セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 895,636 | 1,226,185 | 1,164,837 | 137,106 | 3,423,766 | △3,423,766 | ― |
| 計 | 12,930,427 | 15,450,720 | 17,016,793 | 7,951,783 | 53,349,725 | △3,423,766 | 49,925,959 |
| セグメント利益 | 888,432 | 3,302,454 | 384,434 | 651,350 | 5,226,672 | 18,876 | 5,245,548 |

（注）１　セグメント利益の調整額18,876千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額（注）１ | 中間連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 運輸 | 不動産 | 流通 | レジャー・サービス | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 12,668,452 | 15,794,074 | 16,745,442 | 8,274,744 | 53,482,713 | ― | 53,482,713 |
| セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 991,999 | 1,254,774 | 1,482,669 | 127,091 | 3,856,534 | △3,856,534 | ― |
| 計 | 13,660,451 | 17,048,849 | 18,228,111 | 8,401,835 | 57,339,248 | △3,856,534 | 53,482,713 |
| セグメント利益 | 846,652 | 3,665,556 | 412,914 | 644,637 | 5,569,761 | 10,586 | 5,580,347 |

（注）１　セグメント利益の調整額10,586千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。